

令和2年5月29日

校内における低濃度 PCB 廃棄物の流出について（お詫びとご報告）

香川県立高松商業高等学校

この度、本校敷地内におきまして低濃度のポリ塩化ビフェニル（以下「PCB」という。）廃棄物を誤って流出させてしまいましたので、概要について以下のとおりご報告させていただきます。

生徒及び保護者、近隣にお住まいの方々をはじめ関係者の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけし、心からお詫び申し上げます。

高松商業高等学校としては、健康被害が出ないよう最善の措置を取るとともに、今後このような過ちを起こさないよう、再発防止に努め、より一層の安全対策を講じてまいります。

1. 経緯

令和2年2月下旬に本校紫雲館南側の敷地内において本校職員が、変圧器内の油の抜き取りを行う際に、誤って変圧器を転倒させ、機器内の油を地面に流出させてしまいました。

変圧器は10年以上前から紫雲館南側にあり、PCBが含まれていないものと認識されていたため、流出した油は段ボールで吸収し、事業系一般廃棄物として処分しました。

4月中旬に変圧器の処分を行おうとした際に、処理業者からPCB廃棄物が含まれていない証明を求められ、本校が変圧器内に残っていた油の分析を依頼したところ、微量のPCB混入が確認され、流出した油が「低濃度PCB廃棄物」であることが5月19日に判明しました。

2. 流出した低濃度 PCB 廃棄物の概要

- | | | |
|---------------|----------|---|
| (1) 変圧器内の油量 | 38L | |
| (2) 油の PCB 濃度 | 59 mg/kg | |
| (3) PCB 推定重量 | 約 2g | ※ $38\text{L} \times 0.9 = 34.2\text{ kg}$ ※絶縁油の比重 0.9 で計算
$34.2\text{ kg} \times 59\text{ mg/kg} = \underline{2,017.8\text{ mg}}$ |

3. 環境等への影響

- (1) PCBは沸点が高いことから、地面から大気への拡散はないと考えられます。
- (2) 油を吸収した段ボールはビニール袋に密閉状態で、事業系一般廃棄物の処分を委託している業者が収集したため、再生利用されずに焼却されております。そのため一般大気環境への影響及び環境への影響は極めて小さいものと思われます。
- (3) 地下水及び土壌の検査を行い、早急に環境への影響を把握します。
- (4) 油が流出した時の作業をした職員に低濃度 PCB 廃棄物の付着はありませんでした。なお、現在、健康への影響は認められておりません。

4 今後の対応について

- (1) 汚染物の飛散を防ぐ措置をとり、油の流出範囲については立入禁止としています。
- (2) 汚染範囲を特定するためにボーリング調査を行い、土壌の汚染状況を把握し、適法に処理を行います。
- (3) 直近にある井戸水の取水口にて地下水を採取し、現在水質検査を行っております。本校近隣にお住いの方で井戸水をお使いの方は、大変ご迷惑をお掛けして申し訳ありませんが、地下水検査の結果が判明するまで、井戸水のご使用をお控えいただけますようご協力をお願いいたします。
- (4) 今後実施する各調査結果について、生徒及び保護者、近隣にお住まいの方々に対し、ご報告いたします。
- (5) 今回の事案により PCB 廃棄物についての調査漏れが判明したため、再度、校内全域で調査点検を行います。

※PCB（ポリ塩化ビフェニル）

水に溶けにくく、電気絶縁性に優れているため、変圧器やコンデンサ、業務用照明器具などに使用されてきたが、有害であることが判明したため、昭和47年以降は製造中止となっている。脂肪に溶けやすいという性質から、慢性的な摂取により体内に徐々に蓄積し、様々な症状を引き起こす化学物質。

※高濃度 PCB：含有量 5,000mg/kg を超えるもの

※低濃度 PCB：含有量 0.5mg/kg から 5,000mg/kg までのもの

【本件お問い合わせ先】

香川県立高松商業高等学校
事務室

TEL：087-833-1971

FAX：087-862-3229